

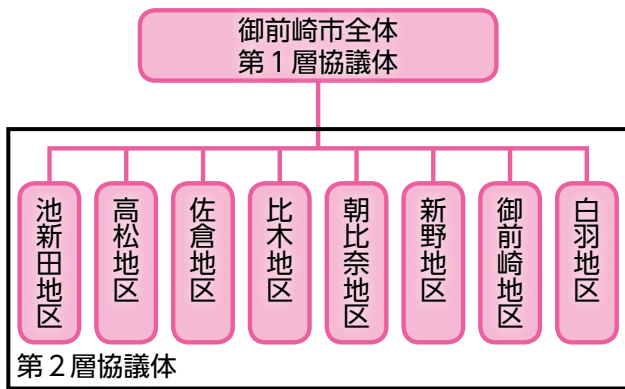
支え合いの仕組みづくりを

協議体と生活支援コーディネーターを設置し、高齢者の状況やニーズの把握、不足するサービスや担い手を養成し、地域で支え合う仕組みを、皆さんと一緒につくっていきます。

●協議体●

協議体とは、地域で高齢者を支援するために地域の関係者が参加し、情報共有や連携して支え合いを広める組織です。

第1層協議体では市全体の支援を担い、第2層協議体では、地区ごとに高齢者支援を推進することが役割となります。



●生活支援コーディネーター●

生活支援コーディネーターとは、地域の支え合いを推進するために各協議体に配置し、リーダーとして協議体と連携し支え合いを広めます。

市内で最初に発足した朝比奈地区協議体「支え合い ほろがや」の生活支援コーディネーター

「元気なうちに人を支えて、その後に支援を受ける側になる。」そうした連鎖が助け合いであると思ひ、自分もその助け合いに参加しようとコーディネーターになりました。地域全体で高齢者を支え合い、高齢者自身も支え上手、支えられ上手になることで、朝比奈地区を皆が安心して暮らしていける地域にしたいと思っています。各地区でも協議体が立ち上がり、市全体が住みよい地域になってほしいです。



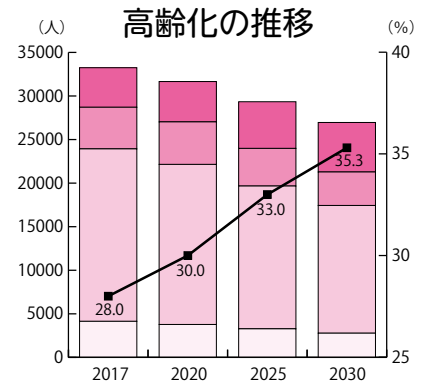
櫻井謙次さん（下朝比奈）

元気に暮らすために
体良体操をやってみよう！

進む高齢化

市の人口は、2020年には3万1657人、うち高齢者人口は9510人に達すると見込まれています。高齢化率は、現在の28.0%から30.0%となり、要介護者も増えることが予想されます。

75歳以上
65～74歳
15～64歳
0～14歳



住民基本台帳(各年9月末)コーホート変化率法による

生活支援

地域による見守りや声かけなど、互いに助け合いましょう。

【具体的な取り組み】

- ・各地区に協議体の立ち上げ
- ・ゴミ出し、買い物などを手助けする「ささえあいサポーター」の活用



おまもり帳

高齢者の生活を支えるさまざまなサービスを紹介しています

予防

老人クラブ活動や公民館の教室に参加し、さまざまな予防へつなげましょう。

【具体的な取り組み】

- ・おまえぞき体良教室
- ・おたっしや教室
- ・各種サロン

▼体を動かせる地域のサークル

